

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



GSU023-P02

会場:コンベンションホール

時間:5月22日 14:00-16:30

Space Weather Forecasting Contest に参加して Space Weather Forecasting Contest held in 2010-2011

佐藤有樹¹, 出口辰哉¹, 和田 大三郎^{1*}, 石川 浩之¹, 三宅 互¹
Y. Sato¹, T. Deguchi¹, Daizaburo Wada^{1*}, Hiroyuki Ishikawa¹, Wataru Miyake¹

¹ 東海大工

¹Tokai Univ.

Space Weather Forecasting Contest は米国の George Mason 大学によって 2009 年度から実施されている、誰でもが参加できる宇宙天気予報に関するコンテストである。2 年目にあたる 2010 年度に、東海大学の当研究室は初めて参加を試みた。公的機関（日本の（独）情報通信研究機構など）による宇宙環境の情報サービスはあるが、一般を対象としたこのような取組みはユニークである。

2010 年度のコンテストは 10 月 4 日に始まり、感謝祭と冬季休暇の休止をはさんで、4 月 8 日まで、20 週にわたり行われている。1 週のうち、月曜日から金曜日までの間、翌日の太陽風最大速度、最大 Kp 指数（地磁気擾乱指数）、静止軌道上の >2MeV 電子平均フラックスの 3 つのパラメタの予測をする。3 つの予測値は、23:59:59(UT) までに WEB 上のサイトに投稿する。実測値との差に対してエラーポイントが付き、この合計点が最も少ないものが優勝となる。昨年の第一回目の総合優勝は米国の高校であった。

当研究室では、学部の卒業研究として数名で分担して予測を行い、その予測精度の向上を研究課題とした。日本からの参加者が年々増えることを期待して、本コンテストの概要とこの 2010 年度の当研究室の取組みについて紹介をしたい。

キーワード: 宇宙天気, コンテスト

Keywords: space weather, forecasting contest